

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-2 地域福祉の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	地域福祉課長 石橋 達也	電話番号	0852-22-5349
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	地域福祉計画策定支援事業		
目的	(1) 対象	地域住民(県民)	
	(2) 意図	地域住民(県民)が共に支え合い、住み慣れた地域で、個人としての尊厳を保ち、障がいの有無や年齢に関わりなく、自分らしく安心して生活ができるようにする。	
事業概要	〇地域福祉の推進のため、市町村に対し計画策定のための情報提供等を行うとともに、今年度で計画期間が終了する県地域福祉支援計画の改定を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	地域福祉計画を策定・推進している市町村数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		18.00	19.00	19.00	19.00	
式・定義	地域福祉計画を策定・推進している市町村数		実績値	16.00	17.00	17.00	18.00		
			達成率		94.40	89.50	94.80		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b)(千円)	0	278
うち一般財源(千円)	0	278

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

〇市町村において1団体が計画未策定である。
 〇県の地域福祉支援計画の最終年度である。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

〇H26年度に1団体が計画を策定した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

〇計画を策定していない団体がある。
 〇地域福祉支援計画策定後に新たな福祉課題が生じている。

②困っている状況が発生している「原因」

〇法律で策定が義務付けられていない。
 〇経済情勢の厳しい状態が続いている。

③原因を解消するための「課題」

〇地域福祉計画の必要性を理解してもらう。
 〇新たな福祉課題を踏まえた計画が必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

〇地域福祉計画未策定団体へ計画策定のために情報提供等必要な支援を行う。
 〇関係各課と調整し、新たな福祉課題を踏まえた地域福祉支援計画を策定する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）